

稲作情報 No.3

〔大麦適期収穫〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会(農業試験場、福井米戦略課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会)
[http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku.html](http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/2017inasaku.html)

・大麦の成熟期は嶺北平坦地や嶺南地域等の出穂期が早い圃場で5月27日頃となる見込み。

作業	作業の注意点
適期収穫	<ul style="list-style-type: none"> 大麦の収穫適期は穀粒水分25%以下だが、収穫期間の後半の品質低下を防ぐため、穀粒水分が30%以下になった時期から刈り始める。 刈取り時期の判定は、刈取り開始予想日の10日前頃から水分調査を行って成熟の進みを確認する。一般的な穀粒水分計はおおむね30%以下でないと水分測定できないので、穀粒を105℃・24時間で通風乾燥し、乾燥前後の重量変化から水分を測定する。 穀粒水分は50～40%くらいまでは1.2～1.6%/日、40%以下から刈取り開始期までは2.1～3.2%/日の割合で低下する傾向にあり、水分測定を実施すれば、次式によって刈取り開始日の予測がある程度可能となる。 $D = (W - 40) / 1.4 + 4$ D：調査日から刈取り開始日(水分30%以下)までの予測日数 W：調査日の穀粒水分、55～40%までは予測可能 降雨による成熟期の遅れは少ない。降雨によって穀粒水分が一時的に高まっても天候回復後に水分が大きく低下する。 刈取り前に赤かび病等の発生状況やカラスノエンドウの有無等をチェックし、このような圃場が確認された場合は別仕分けする。 収穫後遅くとも4時間以内には通風もしくは加温通風を開始する。穀粒水分が高いほど変質しやすいので、刈取り開始頃のように穀粒の水分が高い時には、さらに処理の開始を早める。 麦刈取時にコンバインのカッターの刃幅を最短にセットして、大豆等の播種時に麦稈を鋤き込みやすくする。焼却はしない。

【天気予報】

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

5月16日11時 福井県の週間天気予報

日付	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火
福井県	晴時々曇 ☀️ ☁️	晴時々曇 ☀️ ☁️	晴時々曇 ☀️ ☁️	晴時々曇 ☀️ ☁️	晴時々曇 ☀️ ☁️	晴時々曇 ☀️ ☁️	曇時々晴 ☁️ ☀️
降水確率(%)	0/0/10/10	10	10	10	10	20	20
信頼度	／	／	A	A	A	A	B
福井	最高(°C)	21 (19~24)	26 (24~28)	28 (26~30)	28 (26~30)	27 (24~29)	27 (24~30)
	最低(°C)	11	12 (10~14)	12 (10~14)	14 (12~16)	16 (14~17)	17 (15~18)

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス